

第3学年2組 外国語活動指導案

令和2年12月3日（木）

指導者 加藤 君江

ALT Sean Koopman

- 1 単元名 ALPHABET ～みんなのイニシャルはなあに？～
(Let's Try! 1 Unit 6)

2 単元の目標

相手のことを知るために、相手の姓名の頭文字を聞いたり、自分のことを知ってもらうために、相手に伝わるように工夫しながら、自分の姓名の頭文字を紹介したりする。

3 言語材料

(The “A” card), please. Here you are. Thank you. You're welcome. I like ～. 大文字 (A～Z), the, card, alphabet, please, here, thank, welcome, 数 (21～30, 0), book, drum, fish, gorilla, hat, ink, jet, king, monkey, notebook, pig, queen, rabbit, sun, tree, umbrella, violin, watch, box, yacht [既出] 挨拶, you, are, 数 (1～20), apple, crayon, egg, lemon, orange

4 関係する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ウ 文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかが分かるようにする。
話すこと (発表)	イ 自分のことについて、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。

5 学習の基盤

(1) 本単元は文部科学省の教材例“Let's Try! 1”の活動例をアレンジして行う。本年度よりスタートした、高学年における学習指導要領に示されている5つの領域の中に「読むこと」「書くこと」とある。その目標として「読むこと」については、「(ア) 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする。」そして、「書くこと」については「(ア) 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。」とあり、3年生で行う本単元は活字体の文字に触れるスタートの単元である。そのため、高学年における文字指導に繋げるためにも丁寧な指導を行いたい。また、意識して探してみると身の回りにはたくさんアルファベットの活字体の文字があることに気付かせたり、形で仲間わけをさせたりすることで、楽しみながら活字体の大文字に慣れ親しませたい。なお、単元のゴールで自分の名前の自己紹介カードに好きなものを絵で描き込み、それも併せて紹介し合う活動を行うことで既習表現を使い、伝える必然性をもたせる。

(2) <個人情報保護のため省略>

(3) 本単元のゴールの活動では、それぞれが自分の名前の頭文字を紹介し合った後、誕生月ごとに作成したカードを掲示する。一人一人がクラスの仲間であり、大切な存在であることを意識させた

い。名前は誰にでもあり、大切なその人の一部である。頭文字も同じであり、その人を表すものであることを知って欲しい。そのために1時間目では、パワーポイントで、頭文字で表されたお店の名前を示したり、5時間目である本時では、先生の名前の頭文字クイズをしたりしながら名前の頭文字に使われている活字体の大文字に慣れ親しませたい。また、活字体の大文字は様々な形があるため、形を楽しみながら認識していくように、ブロックや砂文字カードを使い、視覚的・感覚的に捉えさせながら活動を行っていく。5時間目は自分のことを知ってもらうために、児童は、自己紹介カードを見せながら紹介を行う。活動の途中に中間評価を加えることでより良いコミュニケーションの在り方を意識させていきたい。

6 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	活字体の大文字を識別し、活字体の大文字とその読み方を聞き取ることに慣れ親しんでいる。	相手のことを知るために、相手の姓名の頭文字の読み方を聞いている。	相手のことを知るために、相手の姓名の頭文字の読み方を聞こうとしている。
話すこと 「発表」	活字体の大文字を識別し、活字体とその読み方に慣れ親しんでいる。	自分のことを知ってもらうために、相手に伝わるように工夫しながら、自分の姓名の頭文字を紹介している。	自分のことを知ってもらうために、相手に伝わるように工夫しながら、自分の姓名の頭文字を紹介しようとしている。

7 指導と評価の計画（全5時間）

時	目標◎ 主な活動○【 】	評 価			
		知 技	思 判 表	主 体	
1	◎身の回りにはアルファベットの文字で表されているものがあることに気付くとともに、活字体の大文字の読み方を知る。 【Let's Watch and Think】 p. 22, p23 ・映像資料を視聴して、アルファベットの文字の様々な表示を見て何を表しているかを考える。 ○誌面の中に隠れているアルファベットの大きな文字を見つける。 【Let's Sing】 ABC Song p. 23 ○ポインティング・ゲームをする。(A~Z)				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。
2	◎活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむ。 【Let's Sing】 ABC Song p. 23 ○何の文字か当てる。 ・指導者が提示するアルファベットの大きな文字を見て、それが何か当てる。 ○文字並べをする。 ・アルファベットブロックを順番に並べる。 ○アルファベットブロックを使って隠したアルファベットは何か当てるゲームをする。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。

3	<p>◎活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむ。 【Let's Sing】 ABC Song p. 23 【Let's Play】 p. 24</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットの文字の形に着目して自由に仲間分けする。 <p>○アルファベットクイズをする。(ICT)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・懐中電灯でてらされたアルファベットの文字の一部分を見、てなんのアルファベットの文字かを当てる。 <p>○ビンゴゲームをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者が言ったアルファベットカードを裏返しにする。 <p>○線つなぎをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者が言う大文字の読み方の順に、その文字を線でつないでいく。 	聞		<p>【聞くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活字体の大文字を識別し、活字体の大文字とその読み方を聞き取ることに慣れ親しんでいる。【知・技】 (行動観察・振り返り)
4	<p>◎自分の自己紹介カードを作成するために、頭文字を尋ねたり答えたりしようとする。 【Let's Chant】 ABC</p> <p>○アルファベットクイズをする。(ICT)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT 教材を使って一部分かくされたアルファベットの文字を見て、なんのアルファベットか当てる。 <p>【Activity】 p. 25</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の姓名の頭文字を集めて自己紹介カードを作成する。 ・文字カードを渡す役と、もらう役に分かれ、英語の名札を参考に、自分の姓と名前の頭文字に必要なカードをもらい、紹介カードを仕上げ指導者に紹介する。 	聞	聞	<p>【聞くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手のことを知るために、相手の姓名の頭文字の読み方を聞いている。【思・判・表】 (行動観察・自己紹介カード・振り返り) ・相手のことを知るために、相手の姓名の頭文字の読み方を聞こうとしている。【主体】 (行動観察・自己紹介カード・振り返り)
5 本時	<p>◎相手に伝わるように工夫しながら、姓名の頭文字を紹介しようとする。 【Let's Chant】 ABC</p> <p>○形をあてるクイズやイニシャルクイズをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生やキャラクターのイニシャルを当てる。 <p>【Activity】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に作成した自己紹介カードを紹介する。 <p>○誕生日ごとに紹介カードを掲示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスの仲間の名前の頭文字を言ったり聞いたりする。 	発	発	<p>【話すこと・(発表)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活字体の大文字を識別し、活字体とその読み方に慣れ親しんでいる。【知・技】 (行動観察・振り返りパスポート点検) ・自分のことを知ってもらうために、相手に伝わるように工夫しながら、自分の姓名の頭文字を紹介している。【思・判・表】 (行動観察・振り返りパスポート点検) ・自分のことを知ってもらうために、相手に伝わるように工夫しながら、自分の姓名の頭文字を紹介しようとしている。【主体】 (行動観察・振り返りパスポート点検)

8 本時の学習 (5 / 5)

- (1) 自分のことを知ってもらうために、相手に伝わるように工夫しながら、自分の姓名の頭文字を紹介しようとする。
- (2) 展開

学習場面と児童の取り組み	教師の活動・支援 評価【 】
<ol style="list-style-type: none"> 1. 挨拶をする。 3. アルファベットチャンツをする。 2. 形クイズ・イニシャルクイズをする。 OやQ AやVなど・・・ 先生やキャラクターのイニシャルなど。 3. 本時のめあてを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体で挨拶をしたり，ALT の先生の曜日紹介を聞いたり質問に答えたりすることで外国語活動の雰囲気をつくる。 ・体を使ったり,リズムにあわせてアルファベットチャンツを言ったりする。 ・前時までの活動で間違いやすかった形を再度確認する。 ・電子黒板を使ってイニシャルクイズをすることで次の活動に繋げる。 ・身近で親しみのある人物などを出すことによって児童の興味をひくようにする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">自分の名前前のイニシャルを紹介し合おう</div>	
<ol style="list-style-type: none"> 4. 指導者と ALT の紹介の仕方を見た後，自分の名前前の自己紹介カードを使ってイニシャルを紹介し合う。 Hello! My name is KATO KIMIE. K (and)K I like ○○. Thank you. など 5. 自己紹介カードを誕生日ごとに掲示する。 <ul style="list-style-type: none"> ・全員でイニシャルを読む。 ・クラス全員の誕生日ごとの掲示物を見て，友だちの誕生日とイニシャルを知る。 6. 本時の振り返りを行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・みんなのイニシャルがよく分かった。 ・友だちのことがより知れたよ。 ・～さんが上手に発表していたよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より自分を分かってもらうために，自分が伝えたいことは既習表現を使って伝えるよう，ALT と指導者のデモンストレーションを通して意識させる。 ・中間評価を入れ，後半の活動がより良い活動になるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">【話すこと（発表）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活字体の大文字を識別し，活字体とその読み方に慣れ親しんでいる。【知・技】 (行動観察・振り返りパスポート点検) ・自分のことを知ってもらうために,相手に伝わるように工夫しながら,自分の姓名の頭文字について紹介している。(行動観察・振り返りパスポート点検) <p style="text-align: center;">【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のことを知ってもらうために,相手に伝わるように工夫しながら,自分の姓名の頭文字について紹介しようとしている。【主体】 (行動観察・振り返りパスポート点検) </div> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人のイニシャルを確認していくことでみんなが大事であることを意識させる。 ・クラス全員の名前がそろったところで，誰一人も欠かすことができない友だちであることや，大切な命であることを共有する。 ・めあてに沿った振り返りを促す。 ・活動の良かったところを称賛する。 ・できるようになったことなどを引き出ししながら単元のまとめをする。

【評価・話すこと（発表）】・・・具体的な評価の視点

【知識・理解】・活字体の大文字などを用いて，紹介している様子を見取る。

【思・判・表】・はっきり言う，相手の理解を確かめながら繰り返し言う。相手がわかっているか反応を確かめながらゆっくり言う。

【主体的】・「思考・判断・表現」と同様に姿を記載に残すが，加えて，他の児童の発表の様子を見て，その良さを取り入れたり，工夫したりしている特徴的な様子も見取る。

9 本時の評価と支援

	十分満足できると判断される 児童の具体例	おおむね満足と判断される 児童の具体例	支援を必要とする児童への 手立て
知識・技能		活字体の大文字を用いて紹介している。	・個別に練習し自信をもたせる。
思考・判断・表現力	相手に伝わるように、相手の状況を確認しながら、はっきり言ったり、紹介カードをよりよく使ったり、工夫して自分の姓名の頭文字を紹介する。	相手に伝わるように、はっきり言ったり、紹介カードを使って相手にわかるように工夫して自分の姓名の頭文字を紹介したりしている。	・個別に自分の言いたいこと紹介したいことを練習し、自信をもって取り組むようにする。
主体的学習に取り組む態度	相手に伝わるように、相手の状況を確認しながら、はっきり言ったり、紹介カードをよりよく使ったり、工夫して自分の姓名の頭文字を紹介しようとしている。	相手に伝わるように、はっきり言ったり、紹介カードを使って相手にわかるように工夫して自分の姓名の頭文字を伝えたりしようとしている。	・紹介カードを見ながら、安心して最後まであきらめずに取り組むことができるようにする。